

第 46 回大阪府高等学校芸術文化祭

放送文化部門 参加要項

令和 7(2025)年度 第 3 回高校生のための放送技術講座 併催

1 目的

次年度 7 月 26 日～8 月 1 日に秋田県で行われる第 50 回全国高等学校総合文化祭秋田大会（あきた総文祭 2026）における大阪府代表の選考を行うとともに、番組の発表の機会を設ける。

2 日時

令和 7 年 11 月 2 日（日） 09:30～16:30

時程（参加数によっては変更することがある）

09:30～10:00 受付

10:00～10:15 開会式

10:20～12:50 アナウンス部門・朗読部門・番組部門公開審査

13:50～15:50 放送技術講座（アナウンス・朗読・ドキュメント）

16:00～16:30 結果発表・表彰・閉会式・代表推薦者・推薦校への連絡

3 会場

相愛高等学校（<https://www.soai.ed.jp/school/access.html>）

大阪市中央区本町 4 丁目 1-23 Osaka Metro 御堂筋線 本町駅：4 号出口 すぐ

※ 自家用車での来所は固くお断りいたします。

4 参加資格

大阪府高等学校芸術文化連盟に加盟する府内の高等学校等（学校教育法における高等学校および高等学校に準ずる学校）に在籍する生徒および大阪府高等学校芸術文化連盟が特に認めた学校に在籍する生徒。

5 実施部門と参加制限

(1) アナウンス部門 最終学年（年次）を除く高校生・高等部生に限る。各校 3 人以内。

(2) 朗 読 部 門 最終学年（年次）を除く高校生・高等部生に限る。各校 3 人以内。

(3) ラジオ番組部門 制作代表者は最終学年（年次）を除く高校生・高等部生に限る。各校 2 本以内。

(4) テレビ番組部門 制作代表者は最終学年（年次）を除く高校生・高等部生に限る。各校 2 本以内。

(5) 番組自由部門 各校 2 本以内

※ (5)番組自由部門につきましては、数年間連続でエントリー作品がございませんでしたが、

昨年 1 本のエントリーがございました。そのため、今年度は継続いたしますが、廃止を検討しております。

6 放送技術講座

(1) ア ナ ウ ン ス アナウンス技術に関する指導・講義 講師：安田知博 先生

(2) 朗 読 ドキュメント 朗読技術に関する指導・講義 講師：仲山豊秋 先生

(3) ドキュメント 番組の制作に関わる講義 講師：井村慎介 先生

7 参加費

放送技術講座参加者は 1 人につき 300 円（芸術文化祭の参加費は今年度は無料）

8 各部門の参加規定

(0) 全部門共通の注意

- ・作品の内容は人権尊重に配慮したものであり、高校生として品位のあるものであること。
- ・全日制、定時制など課程が異なる場合は、申込みを別の学校としてカウントする。
- ・原稿や作品は、この大会のために新しく生徒が自作したものに限る。(番組自由部門を除く)
- ・原稿等の様式は、大阪府高等学校視聴覚教育研究会の Web ページからダウンロードしたものを使用し、A4 版に片面印刷して当日の受付で提出する。なお、フォントサイズ等の書式は変えないこと。
- ・「あきた総文 2026」の放送部門への出場者や出場校は、本大会の結果をもとに選考する。
ただし、ラジオ番組部門は「オーディオメッセージ部門（AM 部門）」、テレビ番組部門は「ビデオメッセージ部門（VM 部門）」の選考とし、番組自由部門は「あきた総文 2026」への選考としない。また、本大会後に「あきた総文 2026」に向けて、原稿や作品を新たに作成し直すことを可とする。

(1) アナウンス部門

- (ア) 郷土（大阪府内）の話題を高校生に伝える内容の原稿を作成し、発表する。
- (イ) 審査番号を含め、1 分以内でアナウンスする。学校名や名前は読まない。
- (ウ) 所定の書式（様式 2a）を使用した審査用原稿を、当日受付時に 1 部提出する。
- (エ) デジタル静止画像や効果音、BGM は使用できない。

(2) 朗読部門

- (ア) 郷土（大阪府内）にゆかりのある作家の作品、または郷土を舞台とした作品の中から原文の一部を選び、原稿として発表する。原文の脚色・改変は認めない。
- (イ) 審査番号・著者名・作品名を含め、1 分 15 秒以内で朗読する。学校名や名前は読まない。
- (ウ) 所定の書式（様式 2b）を使用した審査用原稿を、当日受付時に 1 部提出する。さらに、作品原本の抽出部分のコピーも 1 部提出する（抽出部分がわかるように赤で囲んでおく）。
- (エ) デジタル静止画像や効果音、BGM は使用できない。

(3) ラジオ番組部門

- (ア) 郷土（大阪府内）の話題を高校生に伝える内容のラジオ番組を作成する。
- (イ) 作品の発表時間は 5 分以内とする。（全国高等学校総合文化祭の規定は 4 分以内）
- (ウ) 作品はステレオ音声で構成されたものとする。
- (エ) 作品は、mp3 形式（ビットレート 128kbps 以下）、ファイル名「作品タイトル-学校名」で作成する。
- (オ) 作品提出については 9 (5) を参照のこと。

(4) テレビ番組部門

- (ア) 郷土（大阪府内）の話題を高校生に伝える内容のテレビ番組を作成する。
- (イ) 番組の前後に、テストパターン（形式不問）を 5 秒挿入する。作品の発表時間はテストパターンを含まずに 5 分以内とする。（全国高等学校総合文化祭の規定は 4 分 30 秒以内）
- (ウ) 作品は、mp4 形式（NTSC 規格、アスペクト比 16:9、H.264 コーデック、HD 画質(解像度 1080[1920×1080] 以下)）、ファイル名「作品タイトル-学校名」で作成する。
- (エ) 作品提出については 9 (5) を参照のこと。

(5) 番組自由部門

- (ア) テーマは自由とし、テレビ番組やドラマ作品の他、アニメーションやコンピュータ・グラフィックスなど幅広い作品を募集する。
- (イ) 作品の発表時間は、20 分以内とする。
- (ウ) 作品は、上記(3) ラジオ番組部門、(4) テレビ番組部門に準じた形式で作成する。
- (エ) 作品提出については 9 (5) を参照のこと。
- (オ) 本部門は、来年度の「あきた総文 2026」の大阪府代表の選考としない。

9 参加申込みの手順

(1) エントリー 10月14日(火) 必着

① 大阪府高等学校視聴覚教育研究会のWebページから、申込用Excelファイルをダウンロードする。

※ 申込用Excelファイルの注意事項を熟読した上で申込むこと。

※ 当日、公的な理由（学校行事など）や進路に関わる資格試験（英語技能検定など）により参加できない場合は、エントリー時に備考欄に記入すること。

② 必要事項を入力したExcelファイルを、電子メールに添付して送付する。

③ 申込みは必ず顧問等が行うこと。

(2) 申込書等の送付 10月20日(月) 17時 必着

(1)のExcelシートのうち、「申込書」（様式1）のみを印刷し、公印を押印したものを、府立福井高校まで送付すること。

公印のある申込書（様式1）を主催者が受領して初めて正式な申込みとなる。

(3) 確認メールの受信 10月21日(火)頃

申込確認書を代表顧問の先生宛にメールを送付する。

10月24日(金)になっても届かない場合は問い合わせ先まで連絡すること。

(4) プログラム(審査番号)の確認 10月22日(水)頃

大阪府高等学校視聴覚教育研究会のWebページにプログラムを発表するので、審査番号を確認すること。

(5) 番組部門の作品等提出 10月27日(月) 必着

① 作品のデータ

「ギガファイル便」というサイトを利用して、作品URLを取得する。短縮したURLを使用する。

② 「著作権等処理一覧」（様式3）のPDFデータ

下記の10(2)へメール送付で提出すること。

件名に学校名（学校名は略称可）、①はメール本文に短縮したURLを記載、②は添付ファイルとする。

10 申込み先等

(1) 視聴覚教育研究会のWebページ

<https://www.koushiken.jp>

(2) 電子メール送り先

kouza@koushiken.jp（申込み専用アドレス）

*メールの件名は学校名（略称可）とすること。

*このアドレスへ送信すると、受信完了というメールが自動返信される。5分経っても受信完了メールが届かない場合は、うまく送信されていない可能性があるので、時間を空けて再度送信するか、下記まで問い合わせること。

(3) 送付先・問い合わせ先

大阪府立福井高等学校 教諭 姫路 裕敏

〒569-0067 茨木市西福井3-33-11

*送付時は、封筒に「放送文化部門申込」と朱記すること

Tel 072-641-4361 Fax 072-641-4692

メール himeji@koushiken.jp

11 個人情報・肖像権の取り扱いについて

大阪府高等学校芸術文化連盟が、各参加部門申込書等により取得した名前等の個人情報及び本文化祭期間中に撮影した参加者等の肖像は、情報提供、PR及び記録のため、「各部門プログラム」「芸文連活動の記録」「芸文連ニュース」「芸文連ホームページ」などの出版物及び作品表示に利用する。

なお、個人情報は本人からの申し出により、出版物等へ利用しないことがある。

12 暴風警報等発表の際の扱いについて

全体要項の記載のとおり。

13 その他

- ・大会当日は、顧問の先生、部活動指導員または代理の先生（以下 引率者と表記）の引率を必要とする。
- ・会場の利用に際し、会場側や主催者からの指示やルールを遵守すること。会場である相愛高校は、ご厚意で、休日であるにも関わらず校舎を快く貸してくださる。くれぐれも迷惑にならないように心がけること。
- ・事前に連絡を行うが、引率者に審査員や運営の手伝いを依頼する場合がある。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひします。
- ・各申込みの期日は厳守すること。また、提出物は記入漏れや様式違反のないように注意すること。場合によっては減点や失格の対象となることがある。
- ・アナウンス部門と朗読部門は、同一人が両方の部門に参加することはできない。
- ・当日の受付時刻に間に合わなかった場合は棄権とする。（交通遮断等参加者に非のない場合を除く）
- ・当日、公的な理由（学校行事など）や進路に関わる資格試験（英語技能検定など）により参加できない場合、アナウンス部門・朗読部門は、こちらから指定する日時に録音会を実施する。
- ・アナウンス部門の上位者は、来年1月17日（土）に行われる大阪府高等学校芸術文化祭の開会行事において、司会者または各部門紹介時のアナウンス担当者として推薦する。
- ・著作権、肖像権、プライバシー等、権利者の許諾が必要な場合は、各校で責任を持って手続きを行うこと。万が一権利の侵害から生じるトラブルが発生した場合は各校で対応すること。主催者側は一切の責任を負わない。

14 問合せ先

(1) 芸文祭全部門・申込み等（放送文化部事務局担当）

大阪府立福井高等学校 教諭 姫路 裕敏

〒569-0067 茨木市西福井3-33-11

Tel 072-641-4361 Fax 072-641-4692

メール himeji@koushiken.jp

(2) 放送技術講座技術講座

相愛高等学校 教諭 竹中 泰子

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-1-23

Tel 06-6262-0621 Fax 06-6262-0534

メール takenaka@koushiken.jp